≪自己評価シート≫

Ⅰ　保育の計画性

内　　容		自己評価
１、園の教育理念･教育方針の理解		
①	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	2.0
②	園の方針、園長の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	3.0
２、幼稚園教育要領･保育所保育指針の理解		
①	幼稚園教育要領･保育所保育指針を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができる	2.5
３、教育課程の編成と評価		
①	園の教育課程は、幼稚園教育要領･保育所保育指針をふまえ園の教育理念･教育方針に従い編成している	2.0
②	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	2.0
③	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	2.5
４、指導計画の作成		
①	指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	1.5
②	行事は幼児の生活上の意義を十分検討した上で指導計画に組み入れている	2.5
５、環境の構成		
①	指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	2.5
②	楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質･数量を配慮して環境を構成している	1.5
③	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再編成をしている	2.0
④	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	2.0
⑤	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	1.5
６、保育と計画の評価･反省		
①	自分の保育と評価･反省について、次の保育と計画に生かせるように行っている	2.0
②	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価･反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	3.5

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅱ　保育の在り方　３才以上児への対応

内　　容		自己評価
１、健康と安全への配慮		
①	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめている	1.0
②	体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	1.0
２、幼児のみとりと理解		
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している	3.0
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	2.0
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	2.0
３、指導とかかわり		
＜心のよりどころとして＞		
①	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け入れるようにしている	1.0
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている	1.0
③	幼児の話をよく聞くようにしている	2.0
④	”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	3.0
＜遊び･活動の援助者として＞		
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイディアを提供している	3.0
②	幼児をほめたり、励ましたり、目当てをもたせるような言葉がけをしている	2.0
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている	2.0
＜その他＞		
①	幼児の家庭環境やこれまでの成育歴などを顧慮してかかわっている	1.0
②	障がい児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもと共に育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	2.0
４、保育者同士の協力･連携		
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている。また情報を共有している。	2.0
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	3.0
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態を取り入れている	2.0

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅲ　保育者としての資質や能力・良識・適性

内　　容		自己評価
1、専門家としての能力・良識･義務		
＜専門家としての能力＞		
①	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につける	2.0
②	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かり易く話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	1.5
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	2
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	1.0
＜良識とマナー＞		
①	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	1.0
②	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している	1
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	1.0
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気を付けている	1.0
＜義務＞		
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	2.5
②	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	2
2、組織の一員としての在り方		
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	1.5
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	1.5
③	当番や役割による仕事を理解し確実に行っている	2
④	上司の指示、命令には責任をもって実行している	1.5
3、まわりを感じとれる感性・アンテナ		
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	3
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	2.0

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅳ　保護者への対応・守秘義務

内　　容		自己評価
1、情報の発信と受信		
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	2.3
②	クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を写真やイラストなどを活用して分かり易く伝える工夫をしている	1.6
③	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	1.3
④	保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて保育や家庭でのあり方について共通理解を得るようにしている	1.6
⑤	定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってより良い環境づくりに努めている	1.3
⑥	保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している	1.6
⑦	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている	1.3
2、協力と支援		
①	保護者らの様々な訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	1.0
②	必要な場合は自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	2.6
3、守秘義務の遵守		
①	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	1.0
②	秘密情報(保護者・園児等に関する個人情報および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報)については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	1.0
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	1.0
④	秘密情報の貴族は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は園長の許可を得ている	1.0
⑤	秘密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を得た物のみ、必要最小限にし、必要が無くなった場合は適切に処分している	1.0
⑥	秘密情報について新たに知り得たことについては、直ちに園長に報告している	1.0
4、対応上のマナー・良識		
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	1.6
②	親しくなったからといって、友達同士のような話し方をしていない	1.6
③	電話では簡潔に要領よく対話することを心がけている	1.0
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモを取るなどきちんと対応している	1.0
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	1.0
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差によって区別、差別をしていない	1.0
5、クレームへの対応		
①	保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園に連絡、報告、相談している	1.3

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅴ　地域の自然や社会とのかかわり

内　　容		自己評価
１、地域の自然・ひととのかかわり		
①	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	1.0
②	地域の自然や期間を指導計画の中で位置づけて活用している	1.6
③	子どもの医療や保健に関する問題および地域住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	3.3
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	1.3
⑤	中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	1.6
２、小学校との連携		
①	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	1.3
②	小学校の教育内容について理解するよう努めている	3.3
③	小学生が遊びに来ることのできる場(行事等を含む)を設けている	3.0
④	卒園した子ども達の情報を得るようにしている	2.3
⑤	小学校が園での子どもの育ちについて、どのような情報を必要としているか理解するように努めている	2.0
３、地域の特徴を生かした保育の展開		
①	雪遊びや畑で収穫した野菜での調理体験など、地域の気候を生かした保育を実践している	1.6
②	園周辺の自然環境や公園などを積極的に利用している	2.3

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅵ　保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

内　　容		自己評価
１、研修・研究への意欲・態度		
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	2.0
②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている	2.0
２、遊具、教材に関する専門性の向上		
①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	1
②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	1.5
３、園の環境に関する専門性の向上		
①	園舎の構造(平屋、2階建て)や保育室、遊戯室の位置・大きさがどのような教育的意味をもつか理解している	3.5
②	園庭や田畑、砂場、隠れ場所などの位置、広さがどのような教育的意味をもつか理解し、保育に生かしている	3
４、今日的課題に対する専門性の向上		
①	子どもを取り巻く様々な状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心を持っている	2.0
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心を持っている	2.0
③	幼保小連携の意義やあり方について興味・関心を持っている	2
④	子ども達の安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている	1.5
５、自らを高めるための学習		
①	保育の専門知識や技能の他に趣味や読書・ボランティア活動にも関心がある	2.0

2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅶ　保育の在り方　３才未満児への対応

内　　容		自己評価
１、健康と安全への配慮		
①	朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	1.0
②	体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	1.0
③	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している	
④	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせると共にバランスの取れた発育が促されるよう配慮している	3.0
⑤	家庭と連絡を取りながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に触れ、食への意欲を育てている	2.0
⑥	睡眠が充分にとれるような静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)およびSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックをしている	2
⑦	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツを交換したり、トイレに促している	
２、乳幼児のみとりと理解		
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるようｈ愛慮している	1.0
②	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している	1.0
３、指導と援助		2
＜心のよりどころとして＞		3
①	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人との関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	
②	泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	3.0
＜遊び･活動の援助者として＞		2
①	乳幼児の心身の発達および生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育している	2.0
②	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取り、安心感と自己肯定感がもてるように言葉がけをしている	
③	禁止語を不必要に用いないようにしている	1.0
＜その他＞		2
①	乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	
４、保育者同士の協力･連携		2
①	保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉がけや対応をしている。	3.0
②	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	2.0
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態に配慮している	

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

≪自己評価シート≫

Ⅷ　地域における子育て支援

内　　容		自己評価
1、自園の子育て支援事業の理解(全教職員)		
①	地域開放(保育体験や行事)について職員間で共通理解の上、取り組んでいる	2.5
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりで分かり易く説明できる	3.0
③	親しみやすい雰囲気を心がけ、利用者に積極的に声をかけている	2.0
2、環境設定(講座および支援センター事業担当者)		
①	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作り、子どもの支援ができる場をつくっている	2.5
②	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場をつくっている	3.0
③	利用者同士(親同士、子ども同士)の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている	2.0
3、支援の姿勢(講座および支援センター事業担当者)		
①	どの利用者にも公平に接している	3.0
②	利用者同士(親同士、子ども同士)の仲間づくりを促し、場の全体に気を配っている	2.0
③	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受け入れ、それに合わせた対応をしている	2.0
④	利用者が肯定的な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている	2.5
4、育児相談(講座および支援センター事業担当者)		
①	課題がある親子に気付き、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている	3.0
②	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉で分かり易く伝えている	3.0
③	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる	2.0
④	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている	2.0
5、支援の評価・反省(講座および支援センター事業担当者)		
①	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために現状の課題や今後の運営について話し合っている	3.0
②	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している	2.0
③	講座準備等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている	3.0

1よくできている
2まあまあできている
3あまりできていない
4まったくできていない

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。

このことに基づき、社会福祉法人オールフェアリーでは、自己評価を実施し、評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます

東部保育園自己評価総評

[園全体の評価]

・保育の質の向上を目的に新たな取り組みを行ってまいりました。1ヶ月に1回、常勤スタッフ、非常勤スタッフ問わず、クラスの保育に関わるスタッフ全員で、1ヶ月の保育を振り返るとともに次の 1 ヶ月に向けての課題を話し合いました。非常勤スタッフも一緒に話し合うことで、保育の方向性の確認が出来、目標を共有化出来ることで、スタッフの意識改革ができました。

・安全管理の向上を目指し、リスクアセスメント(危険予知)トレーニングを取り入れました。ヒヤリハット等で、起こった事故を検証する機会は今までもありましたが、未然に起こるための対策が不十分だったため、職員が出勤後、保育や作業に入る前にその日の活動で起こりうる事故や怪我を想定し、未然に防ぐための手だてを毎日考えました。トレーニングを取り入れた当初は要領が分からず、予測できる事故の内容も限られていましたが、日々の訓練の中で、少しずつ危険予知に対する気づきが出来るようになり、安全な環境設定を意識できるようになってきました。

[来年度の課題]

〇よりよい保育環境の設定について意識していきたいと思います。

・物的環境の充実として、保育室等の整理整頓、環境の見直し(掲示物など)、子どもたちがわくわくする環境作りを行っていきたいと思います。

・人的環境の充実として、保育の質をさらに向上していくため、職員一人一人のスキルアップを目指していきたいと思います。キャリアアップ研修をはじめスタッフ各々の技能の向上のために必要な研修を積極的に受講し、保育に活かしていけるように計画的に研修を行ってまいります。また、園内研修等で保育について話し合う機会を多く設け、スタッフ全員が自己実現の目標をもって働ける環境を作っていきたいと思います。